



平成 28 年 5 月 11 日

各 位

会 社 名：富士石油株式会社
代表者名：取締役社長 柴生田 敦夫
(コード番号：5017 東証第一部)
問合せ先：総務部 IR・広報グループ 篠内 清人
TEL：(03) 5462-7803
URL：<http://www.foc.co.jp/>

平成 28 年 3 月期通期業績予想値と実績値の差異に関するお知らせ

平成 28 年 2 月 9 日に公表の平成 28 年 3 月期通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想と実績値の差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成 28 年 2 月 9 日発表)	433,000	△7,000	△6,700	△7,100	△92.13
今回発表実績 (B)	425,522	△8,799	△9,546	△9,409	△122.10
増減額 (B - A)	△7,477	△1,799	△2,846	△2,309	
増減率 (%)	△1.7	-	-	-	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 3 月期)	666,179	△20,327	△18,624	△18,109	△234.99

2. 差異の理由

前回の予想は、第 4 四半期平均の原油価格（ドバイ原油）を 30 ドル/バレル、為替レートを 120 円/ドルの前提で策定いたしましたが、同期間のそれぞれの実績は、30.4 ドル/バレル、115.5 円/ドルとなりました。

売上高は、市況低迷による販売価格の低下等により前回予想より減収となりました。

損益は、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想より減益となりました。要因としては、市況低迷や在庫影響（総平均法及び簿価切り下げによるたな卸資産の評価が売上原価に与える影響）の悪化、円高による保有外貨建資産の為替差損拡大等によるものです。

なお、在庫影響を除いた実質ベースの損益は、営業利益相当額は 42 億円（前回予想比 9 億円減少）、経常利益相当額は 35 億円（同 19 億円減少）となりました。

以 上